

第1回 北里地区の学校を考える会委員 議事要旨

日 時	令和8年7月25日（土） 10時 ～ 11時10分
場 所	小牧市北里市民センター 講堂
出席者	【委員】 別紙のとおり 【事務局】 中川 宣芳 教育長 矢本 博士 教育部長 長谷川隆司 教育部次長 丸藤 卓也 教育総務課長 瀬尾 宗利 学校教育課指導主事兼主幹兼教育総務課主幹 長屋 孔之 教育総務課学校再編推進係長 丹羽 勇人 教育総務課学校再編推進係主査 稲垣 翔太 教育総務課学校再編推進係主任
欠席者	酒見委員
傍聴者	38人
配布資料	資料1 北里地区の学校を考える会設置要綱 資料2 委員名簿 資料3 北里地区における学校教育を取り巻く課題と学校再編の方向性

内 容

1 開会 2 会議の公開 教育部次長より本審議會は公開とする旨を説明 3 委員委嘱 事務局より任命書および委嘱状を交付 4 教育長あいさつ 【中川教育長】 ・本日は、お忙しい中、北里地区の学校を考える会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。 ・また、皆様には日ごろより小牧市の教育行政に対し、ご尽力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。

- ・小牧市では少子化の進行に伴う児童生徒数の減少や、学校施設の老朽化といった課題に直面しており、将来を担う子どもたちにとって、より良い教育環境をどのように整えていくかが大変重要なテーマとなっている。
- ・そのような中、昨年度には篠岡地区において、学校再編計画を策定し、現在、再編に向けた取組を進めており、地域の皆様や保護者の方々から様々なご意見をいただきながら、子どもたちにとって望ましい教育環境の実現に向けて検討を重ねている。
- ・今回、北里地区においても、篠岡地区同様、児童生徒数の減少や学校施設の老朽化といった課題に直面していることから、本日、第1回目となる学校を考える会を開催させていただいた。
- ・地域の多くの皆様と北里地区の課題を共有し、将来を展望した学校のあり方について、忌憚なく話し合いを重ねることで、より良い学校づくりへと結び付けていきたい。
- ・本日は、よろしくお願いいたします。

5 会長・副会長選出

後藤委員より舟橋委員を会長に、佐野委員より松浦委員を副会長に推薦され、それぞれ委員全員の同意を得て、舟橋会長と松浦副会長が選出

【会長】

- ・自身が北里小学校、中学校に通っていた頃、ちょうど現在の校舎が新築された時期であった。それから60年以上が経ち、今度は北里地区の学校を考える会の委員に、そして会長に推薦をいただいたことについて、身の引き締まる思いである。
- ・この地域は古くは北里村の時代から、地域のつながりや地元愛の強い地区であると感じており、また、県営名古屋空港を抱えるなど、特徴的な地域でもある。
- ・昔は北里小学校、北里中学校の1小1中で、周りは田んぼや畑ばかりだったが、それから時代の変化とともに、周りの環境も随分と変わっていった。
- ・これからさらに変化の激しい時代にあって、北里地区の子どもたちがより良い環境で学ぶことができる環境をつくっていくため、力を尽くしたいと思うので皆様のご協力をお願いしたい。

6 議題

(1) 北里地区における学校教育を取り巻く課題と学校再編の方向性について
事務局より資料3に基づき、説明を行い、以下のような質疑応答等を実施

【委員】

- ・私の住む藤島団地では20～30代の方の転入により、子どもの数は増加傾向であることから、再編を検討する際には、新たな住民・子どもたちに対して直接、説明をする機会を設けてほしい。

- ・ 小木小学校の設立には学校敷地の提供など、多大な労力をはらった経緯があり、そのことによる住民感情にも十分配慮してほしい。
- ・ 令和 9 年度に篠岡地区で学校再編が実施されると承知している。その経験を北里地区での学校再編に活かし、より良い学校づくりを、慎重かつ丁寧に実施していただきたい。

【事務局】

- ・ 学校再編については、児童や保護者をはじめ、地域の方々の理解、納得が大変重要だと考えており、今後、そうした方々を対象とした説明会などを開催し、地域の皆さまと一緒に学校づくりを進めていきたいと考えている。

【委員】

- ・ 令和 15 年度時点での北里地区全体の児童数の推計を説明いただいたが、北里小学校区と小木小学校区の児童数の内訳は推計されているか。

【事務局】

- ・ あくまで現時点での推計になるが、北里小学校で 375 人、小木小学校で 285 人と見込んでいる。

【委員】

- ・ 個人的な意見ではあるが、小牧市でも小中一貫校の設置に向けた検討が始まること自体はうれしいことだと思う。
- ・ 学校の校舎は北里小と北里中の敷地にそれぞれ別に建てるのか、それともどちらかの敷地に集約されるのか、現時点で検討はされているのか。
- ・ 現在の学校敷地では駐車スペースがほとんどない。北里地区には有料駐車場等もなく、学校行事などの際、保護者が車を停めるスペースがない。
- ・ さらに、学校まで遠い地域では通学距離が 2km を超えることもあり、学校再編に伴い、篠岡地区のようにスクールバスを運行することについて、考えをお聞かせ願いたい。

【事務局】

- ・ 今日の説明の中では小中一体型の学校施設について、他市町の事例も交え、説明をさせていただいたが、今後、北里地区にとって望ましい学校施設の形態について、この会議や地域への説明会の中でご意見をお伺いしながら決定していきたい。
- ・ 通学については、現在、北里小学校から藤島町居屋敷周辺が最も遠い距離を通学されていると承知している。通学路の検討等はされていない状況ながら、仮に小木小学校区からの通学を想定した場合、最大でも居屋敷と同程度の距離を通学することになると見込んでいる。
- ・ そうした中、子どもたちの通学の安全をいかにして守っていくのか、学校再編の検討と

併せて皆さまで一緒に考えていきたい。

【委員】

- ・現在の北里小・中学校までの距離で言えば、藤島団地も 2km 近い距離になる。再編の際には配慮をいただきたい。

【委員】

- ・北里地区では物流会社や倉庫が次々と建てられている一方、住宅の建設は少なく、これは地域的な規制により住宅を建てられない地区があるためと考えている。
- ・市として北里地区の人口を維持し、増加させていくための施策や手法について、どのように考えているのか。

【事務局】

- ・都市計画上の規制のお話と思うが、市教育委員会としては子どもたちの学びや育ちを支える魅力ある学校をつくっていくことが重要と考えており、それが引いては人口増や地域の活性化に繋がるものと考えている。
- ・学校づくりは市教育委員会だけではないため、学校現場はもちろん、地域の皆さまの力をお借りして、北里地区ならではの魅力ある学校を作っていきたい。

【副会長】

- ・他に意見がなければこれでいったん区切らせていただく。
- ・以上をもって、本日の議題は全部終了した。進行を事務局にお返しする。

7 閉会